

## 「めいし」でじこしょうかいしよう（１年）

### 指導目標

相手の話の内容を受けて話したり，自分から進んで話したりする。

相手にわかるように終わりまではっきり話す。

相手の話を興味を持って聞く。

### 教材について

『「めいし」でじこしょうかいしよう』は，小学校初めての夏休みを過ごした児童にとって，２学期最初の単元である。「話したい」という欲求に満ちた児童に，新学期の教室開きともいうべき機会をとらえて「めいし」の意味を教え，楽しく「めいしこうかん」する場を設定して，相手にわかるようにはっきり話したり，話を終わりまで聞いたり，質問したりして，二人で話し合う対話活動を想定している。

#### ・温かい人間関係作りを

ところで，『「めいし」でじこしょうかいしよう』といっても，１学期に生活科で経験している場合がほとんどである。児童も知らないものどうしではなく，１学期の生活を共にし，２学期のスタートに立つ仲間どうしである。親しく遊ぶ友達もいれば，まだ十分つきあっていない子も点在する。したがって今回は，友達を増やすためにはもっと自分のことをわかってもらう必要があることに気づかせ，そのために上手な自己紹介の方法を考えさせたい。また，相手をより知ることでも親近感を味わわせるためにも，上手な話の聞き方も考えさせたい。このような，お互いの話を気持ちよく受けとめ，相づちを打ったり，もっと知りたいことを質問したりして楽しい対話活動を行う力は，温かい人間関係作りの基礎となるものであると考える。

#### ・お互いのよさを認め合って

本実践は，ペアでの１対１の対話を繰り返し練習することにより，１年生なりにお互いに感想や意見を言い合い，上手な話し方や話の聞き方を児童から引き出していきたい。その際，代表児童を抽出して対話させたり，児童対教師の対話をしたりして，学級全体でお互いのよさを認め合う場面を設けて，温かい雰囲気でもより楽しい対話ができるようにさせたい。

#### ・楽しみながら学習

「めいしこうかん」は楽しい学習活動の場であるが，単なる「めいし」集めになるおそれもありうる。そうならないためにも，今回交換はしないで，友達と「めいし」を見せ合いながら対話を行い，サインをもらうこととする。

#### ・１対１から１対グループへ

「なつやすみにしたこと」の話題では，児童の意欲を喚起し，持続させるためにも，「めいし」を使って，「きいてきいて，わたし（ぼく）のなつやすみ」というグループでの報告会にしたい。１対１の対話から，１対グループへの簡単な話し合いへと発展していくであろう。

学習指導計画（10時間）

展開	過程	時	学習活動	留意点・評価規準
一   次	第1～2時	つかみ ・見通す	挿絵を見たり，教材文を読んだりして学習活動のあらましをつかむ。 ・1学期の生活科での「じこしょうかい」の経験を想起する。 ・自分のことをもっとわかってもらうために「めいし」を作って自己紹介することをつかむ。 教材文の片仮名について，読み書きを練習する。	これまでの経験から，みんなが仲良くなり友達を増やすためには，もっと自分のことを知ってもらう必要があることに気づかせる。 関：「めいし」で自己紹介することに興味をもち，学習計画をつかもうとしている。（観察）
	第3～4時	情報収集する	「めいし」で自己紹介する内容を考える。 ・かわいがっているペット ・育てている野菜や草花 ・好きなこと，好きなもの ・得意なこと ・こんな人になりたい など 名前と紹介したいことを絵や文に表し，「めいし」を作る。 教科書の例文をもとに，話すときの言葉を，ワークシートに3～4つの自己紹介の文を書く。	教科書を参考に，どんな内容が考えられるか，あげさせる。（「なつやすみにしたこと」はあとで報告会をする）  自分のいいところを探すようにさせる。 教科書を参考に，「わたしは（ぼくは）...です...をしています...」の順序も考えさせる。 書：二文程度の文章を書いている。（ワークシート） 早く書けた児童には，話す練習をさせる。
	第5時（本時）	表現の工夫 ・高める	ワークシートをもとに，二人組み（ペア）で話す・聞く練習をする。 ・隣の友達とペアで ・グループで相手を変えてペアで	1対1で話す・聞く練習をし，感想や意見を言うようにさせる。 代表ペアを抽出や，児童対教師の対話から全体でよい点を学び合う。この時，聞く側がわかったことを繰り返して話したり，もっと知りたいことは質問してもよいことなども指導する。

一 次				<p>話・聞：ワークシートをもとに話すことに慣れたり，真剣に聞いたりしている。</p> <p>言：姿勢・口形などに気をつけて話している。</p> <p>（観察・自己評価・相互評価）</p>
	第6時	実践	「めいし」を見せ合いながら，お互いに自己紹介し合う。	<p>話すとき，聞くときの約束を確かめてから行う。</p> <p>自己紹介が終わったら，カードにサインをもらう。</p> <p>ビデオ録画する。</p> <p>話：友達にわかるように話している。</p> <p>聞：相手の話を終わりまで聞き，気持ちよく受け止めている。</p> <p>（観察，自己評価）</p>
	第7時	まとめ	ビデオを見て，学習を振り返る。	<p>学習を振り返り，話し方や聴き方のよかったところや改善点について話し合う。</p> <p>聞：学習を振り返り，よかった点や改善点に気づいている。</p>
二 次	8 ～ 10 時	生かす	<p>夏休みのことについて伝えるための「めいし」を作り，自己紹介の言葉を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>きいてきいて， わたしの（ぼくの）なつやすみ</p> </div> <p>「めいし」を見せながら，なつやすみの思い出をお互いに交流する。</p> <p>・1対グループ</p>	<p>八人くらいのグループでの報告会にすることで，さらに意欲を喚起し，持続させるようにする。</p> <p>話：友達にわかるように話している。</p> <p>聞：相手の話を終わりまで聞き，気持ちよく受け止めている。</p> <p>（観察，自己評価）</p>

本時の展開（本時 5 / 10）

目 標

- ・ワークシートに書いた話し言葉をもとに，友達にわかるように聞こえる声ではっきり話すことができる。
- ・話を終わりまで聞くことができる。

展開例

学習活動	指導上の留意点	評価・支援
1. 学習課題を確認する。	「めいし」の裏にワークシートを貼ってあるものを用意させる。	
「じこしょうかい」のれんしゅうをしよう		
2. めあてを確認する。 一斉 話すめあて ・友達に聞こえる声ではっきり話そう。 聞くめあて ・終わりまできちんと聞こう。	具体的な自分のめあてをもたせるようにする。	
3. 1対1の対話をする。 1対1 隣の人と対話をする。  グループ内で交代して対話をする。	初めは，裏のワークシートを見てもよいこととする。 友達の自己紹介を聞き，感想や意見などを言わせる。 慣れてきたら，ワークシートを見ないで話すようにさせる。	話・聞：ワークシートをもとに話すことに慣れたり，真剣に聞いたりしている。 「自分の好きなことやしていることを話してみましよう」と声をかける。 友達の話が続けて声が出せるよう声がけする。 言：姿勢・口形などに気をつけて話している。
4. 友達の対話を聞きながら，学級のみんなで話し合う。 一斉 ・よいところを探す。 ・次の対話について話す。	教師が抽出した代表児童や児童対教師の対話を聞かせ，1対1の対話を全体に広げていく。  わかったことを繰り返して話したり，もっと知りたいことは質問してもよいことを確かめる。	関：お互いのよさを学び，次の対話に生かそうとしている。

<p>5 . 上手な話し方 , 聞き方をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・聞こえる声ではっきり話す。</li><li>・ゆっくり話す。</li><li>・顔を見て話す。</li><li>・終わりまできちんと聞く。</li><li>・顔を見て聞く。</li><li>・うなずきながら聞く。</li><li>・気持ちよく受けとめる。</li><li>・もっと知りたいことは質問する。</li></ul>	<p>児童の発表をもとにまとめていく。</p> <p>上手な話し方 , 聞き方をまとめ , 今後の学習に生かすようにさせる。</p>
<p>6 . 今日の学習を振り返る。</p>	<p>めあてや「話し方」「聞き方」の観点にそってがんばることができたか発表させる。</p>
<p>7 . 次時のめあてをもつ</p>	<p>次時に向けて , 自己紹介の練習の意欲を喚起する。</p>

# はつかにんかた

(1) ねと ( ) へも ねかた ( )

はつかにんかた

--

ねへんかた

--

だれと [ ] [ ] [ ]

じふんのねかたや、  
ねかたはへんかたか。

かんせん


じふんのねかたや、  
ねかたはへんかたか。

